



令和3年度 水稻生育診断情報 No.1

(令和3年6月11日)

(情報作成) 滋賀県農業技術振興センター

近江八幡市安土町大中 516 (TEL:0748-46-4391)

(次回は6/25頃の予定)

現在の生育状況

- ◎5月中旬～下旬の最高気温が低く、日照時間も少なく推移し、5月中旬以降植えでは初期の分けつが少なく、生育は平年より遅れている。
- ◎植え付けの早いほ場では中干しの時期を迎えている。

管理のポイント

- ◎茎数の増加に注意し、「中干し」が遅れないようにする。
- ◎目標穂数の8割の茎数が確保できたほ場では、速やかに溝切り・中干しを実施する！
- ◎生育が遅れているほ場は、浅水管理で分けつを促進させる。

1 気象の経過と予報

(1) 気象の経過 (彦根気象台観測、平年は過去10年間の平均)

要素		最高気温	最低気温	日照時間	降水量
4月	下旬	平年並	平年並	多い	かなり多い
5月	上旬	平年並	やや低い	少ない	平年並
	中旬	やや低い	高い	かなり少ない	多い
	下旬	低い	平年並	少ない	かなり多い
6月	上旬	高い	平年並	やや多い	平年並

注) 気温 <±0.5℃:平年並、±0.5~1.0℃:やや高い(低い)、±1.0~2.0℃:高い(低い)、±2.0℃<:かなり高い(低い)

日照時間 <±5hr:平年並、±5~10hr:やや多い(少ない)、±10~15hr:多い(少ない)、±15hr<:かなり多い(少ない)

降水量 <±10mm:平年並、±10~20mm:やや多い(少ない)、±20~30mm:多い(少ない)、±30mm<:かなり多い(少ない)

(2) 近畿地方1か月予報 (6/12~7/11) (大阪管区気象台6月10日発表)

- 向こう1か月の天候は、平年と同様に曇りや雨の日が多い。
- 週別の気温は、1週目は高い確率50%、2週目はほぼ平年並。

2 生育状況

【農業技術振興センター 水稻作況調査(5月31日時点)による。表1および後掲グラフ参照。】

- 草丈は、「みずかがみ」、「コシヒカリ」ともに平年より長かった。
- 茎数は、両品種ともに平年よりかなり少なかった。
- 移植後の日平均気温は平年並みに経過したが、5月第4~5半旬にかけて降雨が多く、寡照に経過したことから初期生育は緩慢で、分けつは極めて少なかった。

表1 令和3年(2021年)水稲作況調査 生育調査結果

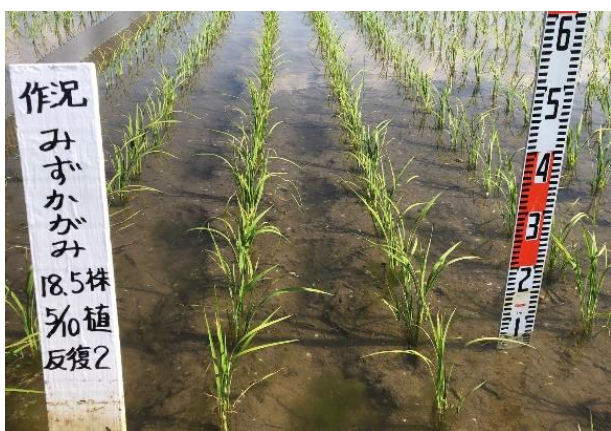
滋賀県農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

基準日 月/日	品種名	草丈(cm)				茎数(本/m ²)				主稈葉数(枚)			
		本年	平年	比	前年	本年	平年	比	前年	本年	平年	較差	前年
5/31	みずかがみ	26.8	24.5	109	24.2	101	168	60	141	5.5	6.1	-0.6	6.3
	コシヒカリ	26.3	25.0	105	23.5	110	157	70	144	5.4	5.7	-0.3	5.7

※移植日: 5月10日(播種日: 4月20日)、栽植密度: 18.5株/m²、植付本数: 3本/株

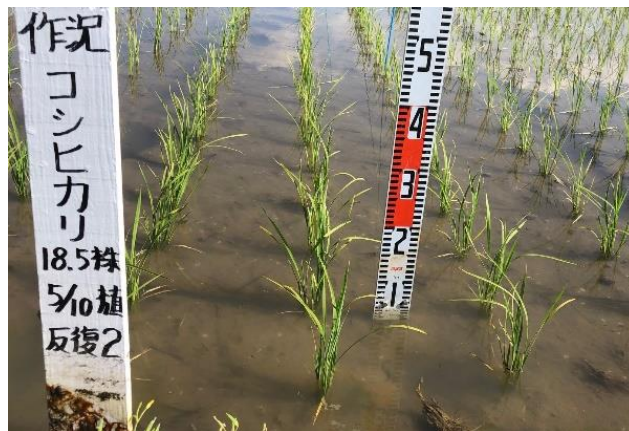
※平年は、H25~R2年(8年間)の平均値。

6月1日現在の生育状況



「みずかがみ」

茎数 101 本/m² (5.4 本/株)



「コシヒカリ」

茎数 110 本/m² (6.0 本/株)

3 今後の管理

(1) 水管理 (溝切り・中干し)

- 目標穂数の8割の茎数が確保できれば、遅れずに溝切り・中干しを行う。
- 中干しの際は、強制落水は行わず、自然減水とする。
- 還元障害が見られるほ場では、軽く干して、根の生育を助ける水管理を行う。

中干し開始の茎数と時期の目安

【茎数】	栽植密度 (株/坪)	1株あたり 茎数(注)
	70	14~15本
	60	17~18本
	50	20~21本

(注) 目標穂数 380~400 本/m²
とした場合に、その8割の茎数
(300~320 本/m²)に相当する
1株あたりの茎数。

【時期】

移植時期	中干しの 目安時期
5月上旬	6月5日頃
5月中旬	6月10日頃
5月下旬	6月20日頃

溝切りの目的

- ①中干しの効果を高める。
- ②中干し後の水管理を行いやすくする。
- ③収穫期に短期間で落水しやすくする。



中干しの目的

- ①無効分げつを抑制し、過繁茂を防ぐ。
- ②土壌中に酸素を供給し、根の伸張を促す。
- ③田面を硬くすることで、収穫直前まで入水できるようにする。



茎数 18本/株

これが中干し開始時期の株張り程度（坪 60 株植）



※「中干し」は遅れずに実施し、幼穂形成期までに終了しましょう。

(2) 追肥

①側条施肥田植および緩効性肥料栽培体系の場合

■側条施肥田植および緩効性肥料栽培で、基肥に追肥分を含めて施用している場合は、茎数が少なくても追肥の必要はない。

②速効性肥料の基肥＋追肥体系の場合

- 追肥施用時期は下表を目安にして、遅れないよう注意する。
- 中山間地帯や地力が低い生育不良田では、下表より3～4日早めに施用する。
- 追肥施用に際しては浅水で行い、施用後少なくとも5日間は田面水を流さず、水田からの窒素やリン酸の流出を抑える。

平年の追肥施用時期（5月中旬までの移植）

品 種	追肥施用時期
極早生・早生品種	6月10日頃
中生・晩生品種	6月20～30日

注) 「みずかがみ」は、6月上旬の追肥を施用せず穂肥で対応する。

(3) 病害虫防除

6月8日発表の「病害虫発生予報第4号」

<http://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/yosatsu/yosatsuzuyouhou/yohou/> または
[県 HP 組織から探す>農政水産部 病害虫防除所>発生予察>発生予察情報>病害虫発生予報](#) を参照

① 葉いもち【発生時期：やや早、発生量：平年並】

→【すでに余剰苗でのいもち病の発病を認めています。葉いもち感染好適日予測システム (BLASTAM) でも感染好適日が出現していることから注意が必要。】

- 余剰苗は直ちに除去する。
- 移植栽培では、いもち病に有効な長期持続型の薬剤を育苗箱に施用、または移植時に側条施用したほ場では、葉いもち防除の必要性は低い。
- 直は栽培では、いもち病に有効な長期持続型の薬剤を、は種同時施薬機を用いて土中施用したほ場では、葉いもち防除の必要性は低い。
- 多肥田や晩植田、「コシヒカリ」「キヌヒカリ」「秋の詩」「滋賀羽二重糯」では特に注意する。
- ほ場をよく見回り、発生を認めたら薬剤を散布する。
- 防除する際は、耐性菌を生じやすいので、穂いもちの防除も考慮して同一グループ薬剤の連用を避ける。

◇ BLASTAM (ブラスタム)

BLASTAMはアメダスの降水量、日照時間、風速から葉の湿潤時間を推定し、気温と葉の湿潤時間の組み合わせで、「いもち病」の感染に必要な条件となっているかどうかを判定するモデル (病害虫防除所HPより抜粋)

令和3年(2021年) BLASTAM 結果										
	今津	長浜	米原	南小松	彦根	東近江	大津	信楽	土山	
5月16日	日	-	-	-	-	○1	○1	○1	-	-
5月17日	月	○1	-	○1	-	-	○1	-	-	-
5月18日	火	○1	●	-	○1	-	-	-	○4	-
5月19日	水	○1	●	○1	?	●	●	●	○1	-
5月20日	木	-	-	-	-	-	-	-	○1	-
5月21日	金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5月22日	土	-	-	-	-	-	-	-	○4	○1
5月23日	日	-	-	-	○3	-	-	-	-	-
5月24日	月	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5月25日	火	○1	○1	○1	○4	○1	○4	○4	○3	○4
5月26日	水	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5月27日	木	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5月28日	金	-	○4	-	-	-	-	-	-	-
5月29日	土	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5月30日	日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5月31日	月	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月1日	火	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月2日	水	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月3日	木	-	-	-	-	-	-	-	-	-

[JPP-NET版BLASTAMの判定結果の指標]

- : 好適条件 (湿潤時間中の平均気温が15~25℃であり、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の平均値が20~25℃の範囲にある。)
- 1: 準好適条件 (湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満)
- 2: 準好適条件 (湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上)
- 3: 準好適条件 (湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15℃~25℃以外)
- 4: 準好適条件 (湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い)
- ?: 判定不能
- : 好適条件なし



病虫害トピックス ～トビイロウンカ編①～



【形態】

- ・ 水稻の重要な害虫の一つで、古くはこの虫の大発生により飢餓がもたらされたとも言われています。褐色浮塵子または鶯色浮塵子とも呼ばれ、その名のとおり、脂ぎった褐色や鶯色をした浮塵子（ウンカ）です。いわゆる「秋ウンカ」とも呼ばれ、夏の終わりから秋に被害が発生します。

【発生生態】

- ・ 主な餌植物としてイネ属（栽培イネや野生イネ）しか利用できず、休眠性は持たないため、日本では越冬できないとされています。一年中生息できるベトナム北部や中国最南端で越冬し、4月～5月にかけて中国華南地域に移動し、数世代増殖したのちに、梅雨時期に日本に飛来します。

【現在の状況（6月8日時点）】

- ・ 今年は近畿地方の梅雨入りが平年より約3週間早く、梅雨前線に伴う中国大陸からの下層ジェット気流に乗じて、早くも日本への飛来が始まっています。本県では確認されていませんが、近隣府県ではすでに確認されていることから、今後の情報に十分注意しましょう（次回はトビイロウンカ編②「飛来と増殖」について紹介します）。

【参考サイト】

農業技術振興センター	http://www.pref.shiga.lg.jp/g/nougicenter/
病虫害防除所	http://www.pref.shiga.lg.jp/g/boujyo/
彦根地方气象台	http://www.jma-net.go.jp/hikone/
早期天候情報	http://www.jma.go.jp/jp/soukei/

～農業情報の配信について～



- 滋賀県では、「防災・犯罪等の情報をはじめとする滋賀の安全・安心のための情報やイベントの案内など」をご希望の方へ電子メールまたはLINEで配信しています。
- 台風等の気象災害や、病虫害の発生が懸念される際に農業技術情報や農業に関するイベントの案内など農業者向けの情報も配信しています。農業に関するタイムリーな情報収集手段の一つとして、是非ご利用ください。
- 詳しいサービスの説明、ご利用上の注意および利用規約は下記の滋賀県ホームページをご覧ください。

滋賀県ホームページアドレス ☞ <http://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kurashi/ict/11688.html>

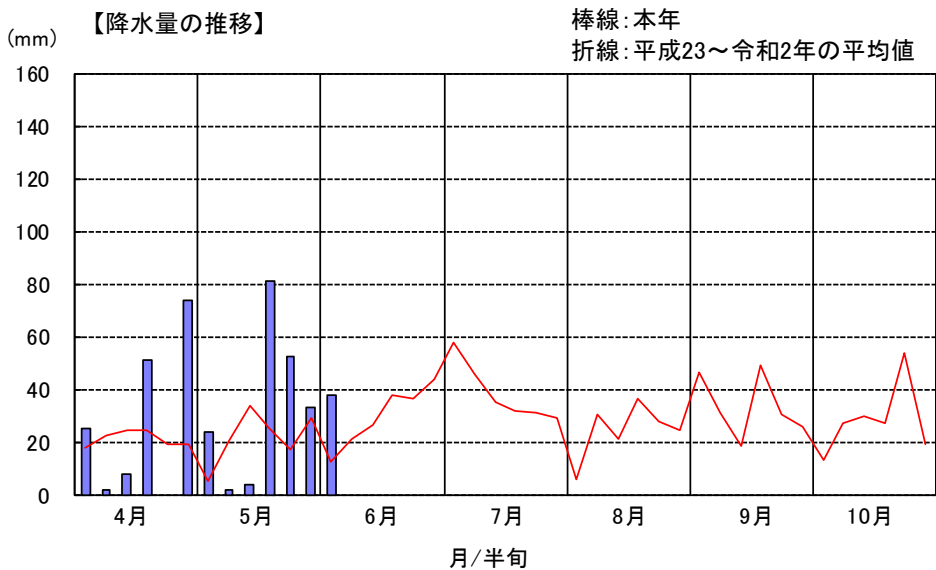
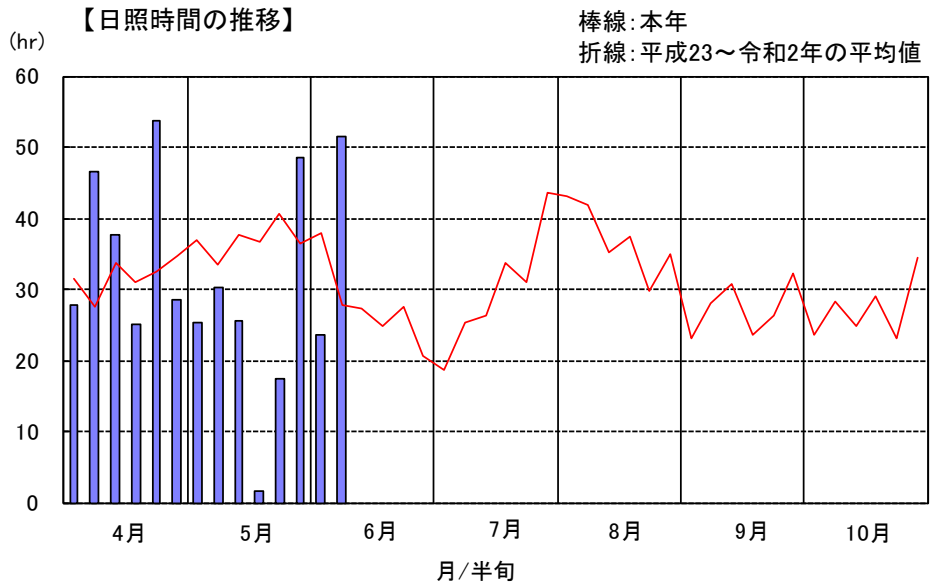
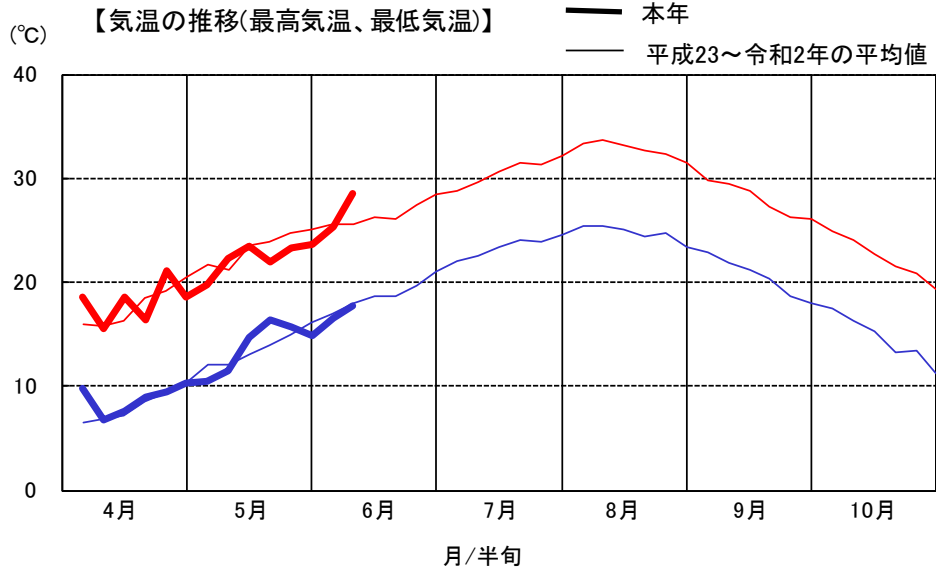
【農業情報を「しらがLINE」で受信する場合】



下記 URL から「登録手続き（変更・解除）」に進み、画面の「友だち追加」から、もしくは、左記 QR コードから、「しらが」を友だち追加してください。その後、LINE メッセージに受信設定用の URL が届きますので、アクセスし、希望する情報を設定してください。農業情報を受信する場合は、「お知らせ」を受信設定後、改めて登録変更画面から「お知らせ」の中の「農業情報」を受信設定してください。

☞ URL : <https://www.pref.shiga-info.jp/ShiraLineWeb/service/index>

令和3年(2021年) 水稲作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)



注) 平年は平成23~令和2年の平均値。

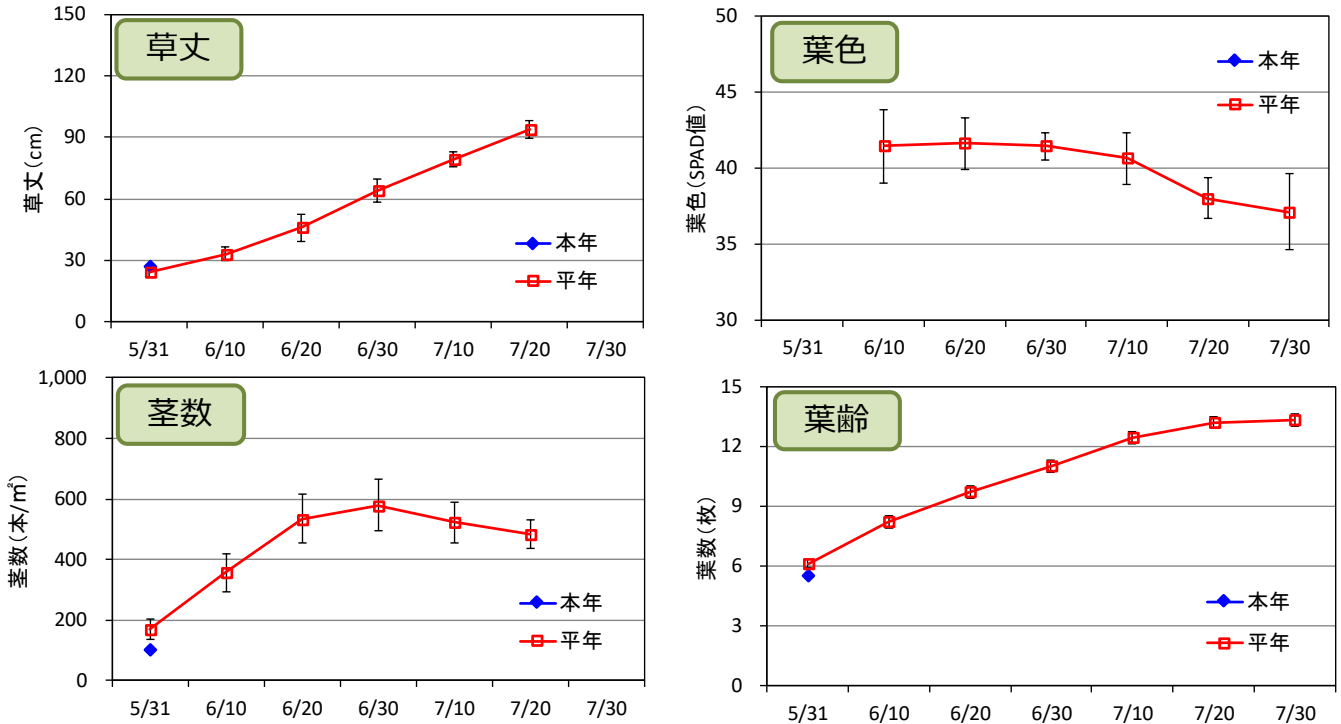
5月,7月,8月,10月の第6半旬の降水量および日照時間は6日間の合計値。

令和3年(2021年) 水稻作況調査 生育調査結果

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

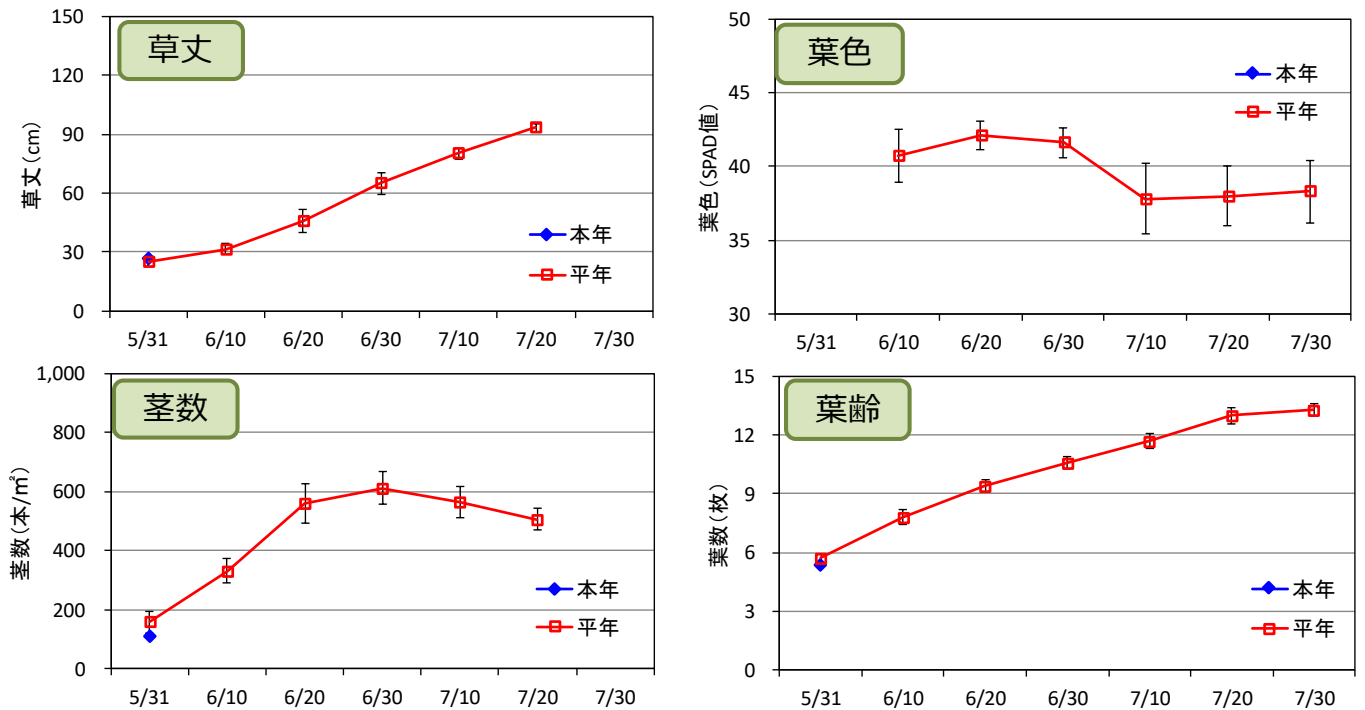
みずかがみ

播種: 4月20日、移植: 5月10日、栽植密度: 18.5株/m²、植付本数: 3本/株



コシヒカリ

播種: 4月20日、移植: 5月10日、栽植密度: 18.5株/m²、植付本数: 3本/株



注) 平年は過去8年(H25年~R2年)の平均値。